

The Best “交流体育祭”！！！！

6月8日、交流体育祭が開催された。今年の行動指針である「丁寧に生きる、感謝と笑顔と。」を体現する素晴らしい行事になった。改めて、企画・準備・運営に関わってくれた全ての皆さんに感謝する。

開会の挨拶の中で「丁寧に生きる」では、命を守るために水分の補給を意識的に行い、怪我を防止するために十分なウォーミングアップを行う。「感謝」では、コロナが落ち着きフルバージョンで思いっきり声も出して行事ができること、この行事を行う上で企画・準備に関わってくれた方々への、高校に行かせてもらっている保護者の方々への感謝の気持ちを忘れてはならない。「笑顔」では、まずは自分たちが楽しみ、そして誰もが眉を顰（ひそ）めることなく笑顔になる行事にしようとしたが、それらを全て実現してくれた。姫路特別支援学校の生徒の皆さんも花を添えてくれた。

応援合戦では、リーダーを中心に各チームが工夫を凝らし、昨年よりも進化した形で発表できた。全ての生徒が競技に集中し、行事そのものを楽しむ雰囲気伝わってきた。心震える体験は感動と言い、全力を出し切ったところに生まれる。そして「思い出」は、生きていく上で大きな支えになる。何よりこの交流体育祭を楽しんだだけではなく、生徒の皆さんの成長する姿を見ることができたことがうれしい。とりわけチーム長、応援団長の成長が著しい。人前に立ち所属する人間を動かすことの難しさややりがいを感じてくれたのではないだろうか。必死に挑戦したからこそその成長だ。みんないい顔だった。

生徒の皆さんを支える先生方の動きも秀逸だった。「生徒のために汗をかき、生徒と共に涙する。」という目標を掲げ、生徒を信頼し、生徒のために奔走し、生徒と共に感動することを実践してくれている。先生方が一所懸命になる姿をみて、生徒も一所懸命に全力を尽くす。そういう一体感が感じられた。

私事で恐縮だが、君たちを見ていると、自分の高校3年生の時の体育大会でリレーメンバーに選ばれ、メンバーとバトンパスを放課後に必死に練習したことを昨日のこのように思い出す。必死に取り組んだからこそ、約40年前のことがしっかりと刻み込まれているのだろう。

毎年レベルが上がっている。2年生1年生の皆さん、去年より少しハードルが上がった今年を更に上回る来年の体育祭をどうするか、今から考えておいた方がいいのではないだろうか。

「不安」は遺伝子に組み込まれた危機管理能力だから、あって当たり前

人間は、新しい環境に置かれると、あるいは、置かれようとする不安を感じる。それは遺伝子に組み込まれた危機管理能力だ。わかっている環境なら、自分がどのように行動すれば上手くいくか、滞りなく進められるかをいちいち考えなくても済む。

若者は経験が少なく、対処するための抽斗（ひきだし）は多くはないが、好奇心が旺盛で、新しい環境に果敢に挑戦する傾向が強い。ややもすると暴走してしまう。しかし、実際に進めようとする「新しい環境になじめるだろうか？」「どんな人がいるのだろうか？」「上手くやっていけるだろうか？」・・・心配するとキリがない。そんな時は、その場から逃げ出してしまうとくなる衝動に駆られる。何とかしてこの場から逃れる手段はないものかと無い知恵を絞ってみる。その場に居なくなる言い訳を考えてみる。しかし、どうしても逃げられないと悟ると、今度は、情報を手に入れようとする。そして、誰かに相談してみたり、同じような境遇の人に声をかけてみたりする。「不安」という危機管理能力が発揮され、慎重に事を進めようとする。そして、言い訳を考えることで頭をひねり、不安を解消するために行動することが経験になり、対処する抽斗を増やすことができる。また、その場から逃げ出してしまうとくなる衝動を克服し、それらを応用することで全く新しい環境にも対応することができるようになる。それが成長だ。

新しい環境は、誰もが不安を感じている。1年生は高校という新しい環境に入り、大きな不安を感じていただろう。今もまだ感じている人がいるかもしれない。だが、不安を感じるのは自然なことだ。

「案ずるより産むが易し」ということわざがある。「物事はあれこれ心配するより、実際にやってみれば案外た易いものだ。」英語では「Fear is often greater than the danger.」などと言い、「多くの場合、恐怖は危険よりも大きい。」と直訳できる。難しそうに見えていたものが、案外簡単であったり、その逆もあったりする。しかし、やってみないと実際のところはわからない。失敗もしないとわからない。

不安はあって当たり前だが、We keep on trying.で失敗も経験し、成長するものなのだ。

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校に私たちはなる 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩